

小杉造園株式会社

企業概要

設立	1978年	資本金	4,000万円
所在地	世田谷区北沢	業種	建設業（造園業）
代表	代表取締役 小杉 左岐氏		
従業員数	74人（うち女性14人）		
事業内容	環境造園土木・植栽工事に関するコンサルティング・設計・施工、マンション・店舗・個人邸などにおける庭園・緑地の維持管理、観葉鉢・寄せ植え・花瓶類などのリース及び販売		



<ポイント>

○会社の取組

- ・子育て社員も管理職に登用
- ・設計と技術営業で女性が活躍
- ・希望者が参加可能な毎年の海外研修
- ・自社の研修所を持ち、技術を基礎から教育
- ・産休・育休を取りやすく、戻ってこられる環境、風土

○女性従業員からのメッセージ

- ・生き物を扱うため枯れる等失敗もあるが、かたちに残るものを自分の力で作れるのが魅力
- ・街づくりに関わるため、生活に密着しており、自分が設計したものを見られるのが魅力

企業の取組

代表取締役 小杉 左岐 氏



技能系女性従業員の採用状況

大卒は2名、高卒や高専卒1名は男女を問わず毎年採用しています。学校経由での応募が多いですが、女性の技能職（現場）を募集してもなかなか応募はなく、今後は現場仕事に給与の比重を置こうかと考えています。設計については、中途採用で昨年2名の募集枠に60名の応募があり、最終的にはそこから絞って3名採用しました。この他、東京都職業能力開発センターから6カ月間の職業訓練生も採用しています。

採用における着眼点は、男女問わず「やる気と忍耐」です。女性の技能職を育てたいと考えてはいますが、女性採用に力を入れる特別な取組は、今のところはしていません。

技能系女性従業員の活躍推進、育成

以前は、造園現場の担当に技能五輪で金メダルを取った女性がいました。現在女性は設計と技術営業で活躍しています。女性は設計もそうですが、現場力があると思います。また、女性は身体が軽いので、本当は木の上に登る仕事に向いていると思います。ただ、男性が躊躇して教えられず、現場での女性の採用はなかなか難しいのです。現場では、危険な作業が多く、

機転が効くことや運動神経や反射神経も必要になってきます。

・女性従業員の教育

教育について、男女問わず未経験者には植木屋とは何かについて基礎から教え、加えて安全第一についても徹底的に教え込みます。また、当社では職人も、技術を見て盗んで覚えろというわけではなく、教育が重要だと考えています。そのため、教育には力を入れており、熱海に研修所を持っています。植木屋で研修所を持っているのは当社だけだと思います。研修については、職場に穴を空けられないことから、数人単位で実施しています。講師は社内だけでなく、外部講師をお願いすることもあり、商工会議所等いろいろな方たちの知恵を借りて行っています。

この他、毎年4月に希望者を全員4泊6日の海外研修に出しており、一人20万×50人で1,000万円の予算を組んでいます。この研修を実施して足かけ30年になりますが、研修の目的は現場を見ることはもちろん、各国の庶民の生活文化を学ぶことです。日本は豊かすぎるため、もっと世界を見る必要があります。世界の環境を知ると視野が広がり、仕事面でも見方が全く変わってきます。そこで、研修では現地を知るために、まず現地の人食べているものを食べてもらうようにしています。また、期間中の訪問場所等、細かいスケジュールは自分たちで決めます。やり方さえ教え込めば皆しっかりやってくれます。

育成プログラムは、基本的に男女同じであり、より細かくより深い内容になっています。また、世界で戦うには戦略が必要なため、技能五輪国際大会のメダルを目指していた時は研修所で3

年間英才教育を受けさせました。メンター制度は特にありませんが、希望者はカウンセラーに相談ができます。女性従業員の昇進やキャリアプランは、今後つくらないといけないと考えています。男女関わらず、研修の受講等を通し、個々に応じて目標を持たせてチャレンジさせ、自信を持たせることが必要だと考えています。

・女性従業員の活用で苦勞している点、問題点

女性は手が汚れることもあり、汚れ仕事が嫌いなようです。また、頑張りすぎる傾向があるため、注意しています。女性は男性に比べて力仕事はできないのですが、その分細かいところまで配慮できる点は良いところです。このように、マイナスをプラスに変えていくしかないと思っています。

技能系女性従業員の定着に関する取組

女性活躍の担当は特にはいませんが、それぞれが熱心に頑張ってくれており、皆が環境を作り上げてくれています。私は、男女を特に意識しない方が良く考えており、結果として当社には総務、デザイン設計、会計、営業等女性課長が5名います。仕事と家庭の両立支援策については、産休や育休などの当たり前のものは取得できますし、子どもの保育園の迎えのため、17時には退社していた社員もいました。その分周りのフォローが必要ですが、お互い様だと考えています。

私の希望としては、会社として頑張っている社員にもっと給与を増やしていきたいと思いますが、なかなか難しいのが現状です。また、当社の女性は欲がないことが課題でもあります。そのため、無理だと分かっていますが、私は女性には敢えて「3倍働きなさい」「給料を3倍にきなさい」と言っています。その半分でも給料が上がるようなら違ってくると思います。さらに、仕事が丁寧すぎることから、仕事を見極めることが大切だと思っています。工夫

次第で時間内で終われるようになるはずですが。

女性活躍推進の成果

女性は愛想があります。愛想は仕事をする上で非常に重要だと思います。特に初めての個人のお客様の場合は、女性がいると奥様方が安心感を持ってくれます。

自社の優れた取組

・自社の取組、魅力や工夫

2007年に当社の男性と女性のペアが技能五輪国際大会で金メダルを取りました。予算の関係から金メダル獲得後は五輪への挑戦をやめました。今後はまた違うことに挑戦していきたいです。技能五輪については、利点がとても多いため他社にも出場を勧めています。

・他社に誇れる取組

当社は女性も含めお客様に対して「できない」とは言わないようにしており、とことんお客様のご要望に合わせる努力をしています。そこに他社との差が出ると思っています。そのため、社員には仕事を常にやり切るように言っています。当社から独立した人も含め現在60人位の業者さんと一緒に仕事をしていますが、良いものを提供するために協力業者さんと協力し合い、結果として、利益を分け合えるようにしています。



今後業界で女性がもっと採用され、活躍していくために必要なこと

現場近くにお手洗いがなくて困るという女性の話をよく聞くため、お手洗いの充実が課題です。当社は海外の仕事も多いですが、アゼルバイジャンでも、公園をつくって女性用トイレを増やすよう提案しました。

また、業界ではまだ女性は使いにくいと潜在的に思われており、男性職場を荒らされたくないとの考えもあると思います。そこは変えていく必要があります。



業界への就職を検討している女性へのメッセージ

どの職業でもまず3年は辛抱してもらいたいと思います。仕事を深くまで理解するには3年は必要です。そうすると自分のその仕事への向き不向きや、将来の自分の方向性が分かります。何も分からず入社し、きついから辞めるようでは次々と転職することになってしまいます。また、同時に会社として、社員に目標を持たせることも大切だと考えます。

従業員の声①

入社10年目 永田さん

担当している業務：環境管理営業

入社したきっかけ

前職は花を扱う会社で、店舗の企画をしていました。その経験を活かせる仕事を探していた時に、インターネットの転職サイトで当社の求人を見つけたことがきっかけです。子どもが小さかったことから、家の近くで、保育園の時間内で働きたいという私の希望と合致していたため、応募をしました。

現在の仕事内容

植木を植えた後のお手入れと管理を担当する環境管理営業部で課長をしています。具体的にはお客様と職人（作業員）の間に立って、お客様のご希望に沿ったお手入れスケジュールを立て、職人さんとの日程調整や業務に関する指示をしています。入社以来特に異動はなく、営業を担当してきました。この仕事の魅力は、多くの人に会っていろいろな経験ができることです。入社当時は仕事が楽しく、限られた時間の中で一生懸命仕事をしており、毎日充実していました。一方で、お客様の中にはなかなか理解してもらえなかった方もいらっしゃり、資料作成（お見積り、お手入れ方法や造園に関する企画提案等）やお客様対応はやりがいととも苦労でもありました。

働く環境

現在高校2年生、小学校3年生と2年生の3人の子どもがいます。入社当時は女性自体がかなり少なく、自分だけ退社時間が早いことで他の人に迷惑をかけてしまうことが多かったです。現在は家庭を持つ女性や子育て中の女性も増え、意識が変わってきたため、有難いと思っています。意識の変化に伴い、子どもの体調不良の際の有休利用も理解してもらえるようになりました。一方で、共働きが多いにもかかわ

らず、子どものいる男性が休むことへの理解はまだ進んでいませんので、そこは課題だと思います。また、たくさんのお客様を一人の担当が抱えているため、担当者がその場にはないと難しい部分があり、今後改善していく必要があるように感じています。

当社は定時以降何時までいなければならないという縛りはないですが、子どものお迎えまでの時間内に業務をこなせるよう、自分なりにやりくりをしている状況です。そのため、会社として私のように時間制約のある社員への配慮がもう少しあると良いと思います。また、女性の相談窓口は特にありませんが、女性社員同士で子どもの学校のこと等話して発散しています。入社当時は悩みもありましたが、今は両立にも随分慣れました。育児に関しては役割を決めているわけではないですが、夫とほぼ半々でやっており、夫には感謝しています。



教育・研修と今後取り組みたいこと

営業職については、入社3カ月は先輩に同行し、仕事のやり方を見て覚えるかたちです。この他、年1回4月実施の社員研修では、大きな樹木の移植をしている実際の映像を見て勉強することもあります。現場で分からないことは周囲の人に聞きながら覚えていきます。また、毎年希望者向けに実施している海外研修では貴重な経験をさせていただいています。

それほど多くの部署があるわけではないため、新しいことができるのであればどんなこと

でも挑戦したいと考えています。同時に、今後の仕事の方向性としては、後輩の教育をしていきたいと考えています。

また、現状は実際の工事で一つひとつ作業を覚えています。そういった技術は職人さんの中にあるもので、こちらから聞いていかないと吸収できません。難しいことですが、今後そういったノウハウが“見える化”できると良いです。

女性の強み・弱み

強みについては、特に個人のお客様は、担当者が男性だと構えてしまうようですが、女性だと安心してもらえるところ。一方で、弱みとしては、この世界では女性が少ないため、バカにされてしまいがちなことです。そういった時には上司に相談しますが、なめられないように知識を持って営業をしなければなりません。職人さんに動いてもらうためには、専門知識は不可欠です。

これまでの成功・失敗体験

成功体験は、やはり売上げが一番になったことです。逆に失敗体験は、営業の仕事である材料調達の段取りについて、慣れないうちは材料が届かずに怒られることもありました。また、繁忙期は日程の調整がとれずにお客様をお待たせしてしまい、ご意見を言われることもありました。

女性従業員が働く上での課題や苦勞

私が3人目を出産した際には、女性社員がまだまだ少なく、出産手当の手続きに戸惑うことがありました。

造園業はとても魅力ある仕事だと思います。ただ、植木の手入れという難しい技術であるとともに高所での作業や力仕事もあり、パワーがないとできない部分があります。今日現場で会った主任は女性でしたが、的確に指示を出し、

男性とうまく連携し作業を進めており、見ていて気持ち良かったです。そういったことができると良いのだと思います。

今後の女性活躍

・今後この会社で女性が活躍していくために必要なこと

風土については、私たちが働いていく中で変わっていけば良いと考えています。

会社・業界の良いところ・魅力

かたちに残るものを自分の力で作れるのは魅力だと思います。私の場合は好きな仕事であり、手が汚れるのも気になりませんでした。生き物を扱う仕事のため、枯れたり失敗することもあります。経験を積んでうまくいった時はやりがいを感じます。



従業員の声②

入社2年 常山さん

担当している業務：造園設計

入社したきっかけ

大学が建築学科だったため、これまで建築関係の設計事務所、ゼネコン会社でのCADオペ等、デザインに関わる仕事をしていました。趣味として庭を見たり、植物が好きだったりしたことから、造園関連の仕事に就きたいと思っていました。当社のホームページの印象が良く、応募したことがきっかけです。

現在の仕事内容

入社後は造園設計を担当しています。お客様からヒアリングしたイメージで図面（設計図）をつくり、それぞれの庭に合った植物等を提案する仕事です。植物が好きで興味がありますので、仕事をしながら知識が入ってくるのは嬉しいです。一方で、まだ経験が浅く、知識を持っていないにも関わらずお客様の前に出なければならないため、問い合わせに答えられず、悔しい思いをした事もあります。そのような時は、社内に持ち帰って確認しています。

今後は、現場に出てみたいと思っています。実際に職人さんがやっている仕事を見て、現場で何が起きているのかを知りたいです。通常新人は数か月現場研修をやることになっていますが、環境デザイン部は新人ばかりのため、忙しくて現業を抜けられない状況です。

働く環境

当社は規模が小さくアットホームな雰囲気です。また、一人ひとりが自分の仕事を全うすることから、手を抜かない環境であり、そこは魅力だと思っています。そのため、経験が浅いと知識を補うために、結果として遅くまで働くことになってしまいます。



社内では仕事と育児の両立への理解が進んでおり、産休・育休を取りやすく、戻ってこられる環境です。女性に配慮した相談窓口はないですが、社長や専務の奥様が側にいらっしゃるので、相談することもでき、また何かあれば気づいてもらえます。働く環境をつくる中に女性がいるのは心強いです。

制約がある社員もいますので、長時間労働を失くし、早く帰れるのが一番だと思います。生産性の向上や無駄の排除等への取組が必要だと思います。また、実現のために何をすべきかを会社全体で検討していくことが重要だと思います。

教育・研修と今後取り組みたいこと

熱海の研修所で1泊2日の新人研修を受けました。

今はデザイン部ですが、将来的にはもっと現場寄りの、例えば施工管理等外に出て工事を仕切るような仕事もできるようになりたいと思っています。

女性の強み・弱み

女性の強みは、お客様に安心していただけることだと思います。男性だと疑われたり嫌がられたりするところも、女性だと受け入れていただきやすいです。一方で、弱みは工事現場で個人のお客様やゼネコンさんに、女性だと

なめられてしまうことです。

これまでの成功・失敗体験

成功体験と言えるほどではないですが、保育園の仕事を自分の設計で初めて担当した際に、お客様にとっても喜んでいただけてやりがいを感じました。私の設計での反省点はありましたが、園庭に芝や果樹を植える等、良い仕事に関われたと思っています。

失敗体験としては、現場を理解せずに図面だけ描いてしまい、いざ植栽しようとしたときにできなくて困ることがありました。



女性従業員が働く上での課題や苦勞

トイレが外にあるのは困ります。

今後の女性活躍

・今後この業界で女性が活躍していくために必要なこと

お客様のご都合に合わせる事が多く、時間で区切りにくいところがあるため、制約がある人には難しく、仕事内容が限定されてしまいます。業界の働き方の問題があると思います。

会社・業界の良いところ・魅力

街づくりに関わることができ、生活に密着していると思います。そのため、生活していても仕事のことを考えることが多いです。仕事が生活の延長線上にあり、日々目にするものが関わってきますので、きっと子どもと歩いても楽しいと思います。また、自分が設計したものを見られるのは魅力だと思います。